

事業番号	15 09 02	事業改善シート（令和8年度実施事業分）	□当初要求	■当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	安全・安心な学校給食及び食育の推進事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	保健厚生課	

1 現状と課題

- ・学校給食を「生きた教材」として活用し等しく食育を学んでもらいたいが、各市町村の事情、単独・共同調理場の別、栄養教諭の配置の有無などにより、すべての児童生徒に等しい食育ができていない現状がある。
- ・朝食を食べていない児童生徒、地場産物や郷土料理について理解していない児童生徒が増えている。朝食を食べていない児童生徒の割合については、学校での指導を今後も続けていくとともに、親世代の意識の変容を促していく必要がある。

2 事業目的

- ・児童生徒が、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付け、心身が健全に発達するよう促す。
- ・学校給食を活用した食に関する指導及び家庭への情報発信により、児童生徒の食生活全体の改善を促す。

3 事業目的を達成するための取組

①栄養教諭の資質能力向上

- ・初任者研修、キャリアアップ研修をはじめ、衛生管理研修会、栄養教諭・学校栄養職員研究協議会などを通じ、教員としての指導方法を身に着け、児童生徒への食育推進を図る。
- ・郡市校長会からの推薦による食育授業実践校を4校指定し、学校全体で教科と連携したカリキュラムマネジメントに基づいた食に関する指導の全体計画について研究を深めるとともに、取組内容を研究協議会等で周知することにより食育推進を図る。

②学校、家庭、地域で取り組む食育推進事業

- ・令和7年度に実施した「児童生徒の食に関する実態調査」の結果を、市町村および学校にフィードバックすることにより、各地域・学校が抱える課題を明確化させ、課題解決を中心とした食に関する指導を計画的に行うことで、児童生徒の食育を一層推進する。
- ・「学校給食研究協議会」の開催や、「市町村教育委員会の課長級研修」を通じて、栄養教諭等のみならず、市町村教育委員会および学校が一体となって食育を推進する意義について理解を深める。

③学校給食費負担軽減交付金事業

- ・【新】保護者の経済的負担の軽減を通じて子育て支援を行うことで、ナショナルスタンダードの観点から、市町村（学校組合）立小学校に通う児童が栄養ある食事と教育の機会を得られるよう、学校給食費の食材費を支援する。

4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし -:数値なし)

No.	指標名	単位	R5年度		R6年度		R7年度		R8年度目標値	達成状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込	推移	推移			
①	栄養教諭による地場産物に係る食に関する指導の平均取組回数	回	6.9	16.2	↗	集計中 (R8.3月確定)	—	12	／＼	子どもたちへの教育的な観点から、栄養教諭による地場産物に係る食に関する指導の割合を、国の第4次食育推進基本計画の目標値である月12回と同様とする。	
②-1	朝食を欠食する児童生徒の割合（小6）	%	4.1	4.6	↘	集計中 (R8.8月確定)	—	4.0	／＼	第4次食育推進計画の「朝食を欠食する児童生徒の割合」の目標がR3実績以下とされているため、R3実績を目標値とする。また、朝食を食べることは、望ましい生活習慣の形成につながる。	
②-2	朝食を欠食する児童生徒の割合（中3）	%	6.3	6.4	↘	集計中 (R8.8月確定)	—	5.7	／＼	第4次食育推進計画の「朝食を欠食する児童生徒の割合」の目標がR3実績以下とされているため、R3実績を目標値とする。また、朝食を食べることは、望ましい生活習慣の形成につながる。	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印は主要目標）	単位	直近3か年/年度分の状況					目標
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	
2-2①	循環経済への転換の挑戦								

6 事業コスト

(単位:千円、人)

区分		予算額					決算額	職員数
		前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R8年度	予算案	／＼	5,309,131	／＼	5,309,131	2,666,833	／＼	2.9
	要求	／＼	31,430	／＼	31,430	26,974		
R7年度		2,990	26,159	0	29,149	25,972		2.9
R6年度		0	26,455	3,135	29,590	26,600	18,025	2.9
要求からの 主な変更点		・栄養教諭・学校栄養職員研修等事業について、過去の実施状況を考慮し研修に係る経費を減額 ・夜間定時制高等学校夜食費は試算に用いる指標を見直したことにより食材加工に係る経費を減額 ・学校給食費負担軽減交付金事業は文部科学省の交付金事業を受け、新たに必要経費を計上						

事業番号	15 09 02	細事業一覧（令和8年度実施事業分）	□当初要求	■当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	安全・安心な学校給食及び食育の推進事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	保健厚生課	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
1	栄養教諭・学校栄養職員研修等	1,925 千円	1,583 千円	予算案 2,099 要求 2,324 千円
No.	細事業を構成する主な取組			
1	新規採用栄養教諭等研修	直接	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
			栄養教諭等の資質向上と、学校給食管理の確実な実施 新規栄養教諭向け研修（校内・校外）実施 全18日（校内研修9日、校外研修9日）	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
2	夜間定時制高等学校夜食費	22,472 千円	23,736 千円	予算案 25,760 要求 28,135 千円
No.	細事業を構成する主な取組			
1	夜間定時制高等学校における夜間学校給食（夜食）の提供	直接	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
			高等学校の夜間課程で学ぶ青少年の心身の健全な発達のための夜間学校給食の提供 ・夜食に係る食材料費を補助（1食当たり71円税込） ・弁当校（12校）、補食校（3校）の入件費相当額（食材加工に係る経費）を負担	
2	夜間定時制高等学校における夜間学校給食（夜食）の提供	委託	・高等学校の夜間課程で学ぶ青少年の心身の健全な発達のための夜間学校給食の提供 調理委託校（1校）における調理業務委託経費を負担	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
3	学校、家庭、地域全体で取り組む食育推進事業	2,058 千円	840 千円	予算案 971 要求 971 千円
No.	細事業を構成する主な取組			
1	栄養教諭、学校給食関係者等研修会	直接	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
			栄養教諭・学校栄養職員の資質向上及び管理職・学校給食主任・調理員など、学校給食関係者が「チーム学校」として取り組む食育の推進のための研修会の実施等 市町村教育委員会学校給食担当課長会議（1回）、栄養教諭・学校栄養職員研修（5年次：3回、10年次：5回）、学校給食研究協議会（1回）、衛生管理推進研修会（1回）、栄養教諭・学校栄養職員研究協議会（2回）、文部科学省主催研修や全国給食大会への派遣	

細事業No.	細事業名	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	R8年度 当初予算
4	学校給食費負担軽減交付金事業	— 千円	— 千円	予算案 5,280,301 要求 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組			
1	学校給食費負担軽減交付金事業	交付金	令和8年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
			【新】給食を実施する公立小学校に通う児童の食材費を設置者である市町村へ交付 児童1人当たり5,200円を交付	